

第50回島マス記念塾ディベート 沖縄への鉄軌道導入は是か非か

肯定側チーム

Beautiful
VS
Angel

否定側チーム

2014年2月27日(木)

PM7:30開始 

沖縄市社会福祉センター2階

No Debate
No Life

時下、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。
さて、この度、塾生の自主学習活動の一環として、
裏面の資料のとおり「2013年度ディベート研究発表」
を行うことになりました。

つきましては、何かとご多忙の折とは存じますが、
記念すべき50回目の節目となる本ディベートをご
覧いただきますよう、お知らせいたします。

多くのみなさまのご参加を心よりお待ちしております。

ウラ面もご覧ください→

2013年度島マス記念塾ディベート研究発表

ディベートとは、決められたあるひとつのテーマ（論題）をめぐって、2つに編成されたチームの間で、一定のルールに従って繰り広げられる討論(知的格闘技)のことである。

第50回テーマ 「沖縄への鉄軌道導入」は是か非か

【解説】

2013年3月に沖縄県は「鉄軌道を含む新たな公共交通システム導入促進について」の報告書を公表した。那覇空港駅から名護市に至る鉄道路線延長は約69キロメートルで、最高時速100キロメートルの電車を走らせて、那覇空港と名護市を約58分で結ぶという計画で、沖縄振興の切り札としての期待も大きい。

鉄軌道による移動は、他の交通手段に比べて輸送力と輸送速度に優れており、自動車を運転できない高齢者等の日常生活を支える移動手段としての重要な役割もある。さらに、導入することにより駅を中心とした地域活性化と鉄道を活用した観光の活性化なども期待される。ただ一方では、計画から導入までに掛かる莫大な経費負担や、既存の公共交通事業の利用者の減少による赤字の拡大、さらに沖縄県の地域特性に合った運行マネジメントの実施など、設置および運行までの課題も多い。今後の導入に向けては、沖縄県全体で鉄軌道を含めた、公共交通機関のあり方についての議論を深めていく必要があると思われる。

(事務局・観)

=ディベートを行うに際して、その論点・争点がそれることなくうまくみ合わせ
ることを目的に、各チーム協議のうえ、以下のとおり定義・確約事項を決定した=

【定義】

鉄軌道とは、専用レールの上を動力を使用して走行する車両とする。

【確約事項】

- ①人の移動のみとし、貨物は対象外とする。
- ②利用者は沖縄県民だけではなく、観光客なども対象とする。
- ③ゆいレールの是非は議論しない。
- ④法律論に深入りしない。
- ⑤用地は取得できるものとし、用地取得の可否については議論しない。



日時：平成26年2月27日（木） 午後7時半～午後9時半

場所：沖縄市社会福祉センター2階会議室

問合せ：沖縄市社会福祉協議会 TEL 937-3385

申し込みは必要ありませんので、どうぞ自由にご参加ください。